



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第119号 発行日/2014.12.20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会



11月16日に行われた「日立市子どもまつり」に百年塾もバルーンアート、竹とんぼ、焼菓子で参加しました。竹とんぼがうまく飛んでチャイムが鳴ると大きな歓声があがりました。

【119号の内容】

- 青葉台サロン・・・・・・・・・・2
- ミュージック・ケア「つくしの会」・・2
- バルカン像がまちを見守る・・・・・・・・2

- 海外生活体験談・・・・・・・・・・3
- シリーズ 私のお気に入り・・・・・・・・3
- 久喜市が研修視察・・・・・・・・・・4
- 市民教授、まち案内人紹介・・・・・・・・4

「ひたち生き生き百年塾」はこんなところです

「ひたち生き生き百年塾」は、市民の皆さんがより住みよい日立市を実現するために、生涯学習をさまざまなテーマで日常的に学習し、実践する活動です。

その活動を応援しているのが「ひたち生き生き百年塾推進本部」です。

「ひたち生き生き百年塾」は1988年に発足しました。ボランティアの推進委員が行政関係者と意見や知恵を出し合い、よりよい生涯学習の環境づくりと運動を進めています。

推進委員は現在約130名います。誰でも、いつでも推進委員として活動できます。

あなたも推進委員になって一緒に活動しませんか。百年塾サロンへお電話下さい。

思いを形に まちと人を元気にしたい! パート2

団地の活性化

「青葉台サロン」オープン

青葉台、堂平団地の中心部に地域福祉の拠点として「青葉台サロン」が11月1日にオープンしました。

両団地合わせて1,000世帯を超



新たなコミュニケーションの場

す巨大団地は、平均年齢70歳を超える高齢化が悩みで、高齢化に伴い一人世帯も70世帯を超えてきたそうです。このため地域内の交流を密にし、お互いの問題点を共有し、相互に助け合う方法を築きあげたいとしています。

具体的な活動として、まず「サロン」に来てもらうことを目的に

会員制を採用し、会員は一日100円、会員以外は200円でいずれも飲み物付きでサロンを利用できます。サロンでは懐メロを楽しむ「音楽喫茶」が月1回、食事と団らんを楽しむ「オニオン・カフェ」が毎週月曜日に活動をしています。

取材当日に「オニオン・カフェ」がオープン。コーヒー付き500円のカレーが大好評で、準備した45食が完売する盛況ぶりでした。スタッフのみなさんが待っていますのでぜひ行ってみてください。

ミュージック・ケア「つくしの会」

音楽でみんなを元気に

ミュージック・ケアによるボランティア活動を続けている「つくしの会」は、6年前から8名の会員で月に3~4回、介護施設や地域の公共施設を訪問して活動しています。会の代表小林美津江さんにお話を聞きました。

ミュージック・ケアはオリジナル曲やクラシック曲などに合わ

せて体を動かす音楽療法のことで、効果としては情緒の回復・安定、運動感覚や知的機能の改善、コミュニケーションの向上が期待できます。なによりも利用者と活動者が一緒になって「楽しさと喜



地域の施設で利用者と楽しむ

び」を得ることが出来るそうです。「つくしの会」の人たちは人を元気づける活動が、自分たちの学びにもなっていると話します。

「つくしの会」の特長は、オカリナとケーナの伴奏に合わせて童謡や懐メロ歌謡、民謡などを歌うプログラムも用意していることで、利用者により楽しんで貰える工夫を続けています。入会したい方は歓迎とのことです。(問合せは日立市社会福祉協議会まで)

バルカン像がまちを見守る

かみね公園の頂上に設置されたローマ神話の火と鍛冶の神バルカン像は姉妹都市バーミングハムから昭和60年に贈られたものです。

米国アラバマ州バーミングハム市は、1871年(明治4年)に設立されたまち



かみね公園のバルカン像

で豊富な石炭と鉄鉱石で発展した鉱業のまちです。このまちの素晴らしいところは、1970~

80年代に、医療やバイオケミカルを取り込み、更に金融の分野へ新たな展開をして、発展を続けていることです。

一方、日立市は、江戸末期に開かれた赤沢銅山会所を礎とした日立鉱山と共に発展し、工都日立として世界にその名が知られています。

しかし最近では、人口減少が著し

く、新たな展開を迫られています。

豊かな海太平洋、風力エネルギーを抱く風神山から堅破山に至る尾根伝い、日本のトップレベルの年平

均日照時間などに加え、首都東京から150kmと近い地の利を生かして、新たな事業が誕生することが期待されます。

海外生活体験談

情報技術 30年の飛躍

30年程前に海外プロジェクトに従事、東南アジア・中近東を歩いた。低開発国は通信事情が非常に悪い。日本との交信はテレックスが頼りで時間がかかる。フィリピンの田舎町で東京に国際電話をかけようとしたら、1日待っても応答なし。現地人に相談すると、まずお菓子屋に連れて行かれ、次に交換所を訪れて菓子を置いてきた。それ以来は日本並みの待ち時間で繋がるようになったが、日本からの電話は繋がらない。当時はシンガポール・マレーシアを除いてはどこも似たような状況だった。

今秋、所用で30年ぶりにタイを訪れた。首都バンコックは勿論のこと、田舎町の小さなホテルで

もパソコンネットが使える、パソコンがあれば何処からでもメールが可能。しかもバンコックでは2時間の時差のままに日本のテレビ放送が受信できる。さらに当日の日本の新聞が朝食時に読める。この30年間に技術革新は地球をととても小さくしたことが実感させられた。



線路利用の個人タクシー(前列左側筆者)

こうした分野の技術発展は著しいが、疫病や地球環境・貧困などは相変わらず未解決。これからもまだまだやる必要があるようだ。

(平井幹男)

百年塾プロジェクト事業の活動

推進校

中学生がスカイプで国際交流

日立市の姉妹都市ニュージーランド (NZ) ・タウランガ市の学校と、メールによる交流を通じて国際理解を図るプロジェクトは、昨年、台原中学校と TIS (注1) との間で始まり、今年、駒王中学校と OIS (注2)、助川中学校と日高中学校が TIS と交流を開始しました。

情報交換は、生徒がテーマを決め、写真と英文の説明や質問を付けてメールで相手校に送ります。助川中学校では 12 月 1 日、TIS と



映し出された TIS の生徒 (助川中)

スカイプ (テレビ電話) による交流が実施されました。初めに、助川中学校から先生や生徒の自己紹介があり、その後、スポーツや勉強などの質疑応答をしました。時間は 20 分位でしたが、みな、非常に楽しそうでした。(学校部会) (注1) TIS: タウランガ・インターメディア

イト・スクール。(注2) OIS: オツモエタイ・インターメディアイト・スクール

じいじ&ばあばの『孫育ち』応援プロジェクト

シニア世代の社会参加活動を含めた祖父母の『孫育て』の応援を目的に昨年度から実施しています。講演会や小学校での現地研修、ものづくり体験等を行った前年に続き、今年度は「孫に好かれるじい



童心に戻り楽しく学ぶ

じ&ばあばになろう！」がテーマです。

子育て支援施設「日立市子どもすくすくセンター」の研修では幼児対象の親子教室にも参加。保育士さんたちの、子どもの興味を持続させる工夫に感心させられました。実技を交えた講演会『孫と遊ぶヒント』では、遊び環境ミュージアムアフタフ・バーバン代表の北島尚志さんから、子ども心の理解と尊重、大人も一緒に心から楽しめる遊びなどを学びました。

より広くより深く子どもたちの実情を体得しながら活動に参加できる新たなシニア層の拡充を願っています。

応援！カップル誕生

百年塾では、ひたち出会い応援協議会 (事務局: 日立市子ども福祉課)、一般社団法人いばらき出会いサポートセンターの後援で連携を図り、働く独身男女の出会いの交流支援事業を年 2 回実施しています。

夏は「夜の動物園とステキな夜景でティーパーティー」を 8 月 9 日 (土) に、冬は「ホテルでクリスマスパーティー」を 12 月 7 日 (日) に開催しました。

会場はクリスマスイルミネーションがきらめくとても良い雰囲気の中、22 歳から 45 歳までの 51 名が参加しました。

最初は硬い表情の参加者でしたが徐々にリラックスし、皆さんとゆっくり話をしたいとの要望でフリータイムの時間をたくさんとりました。また、ホテルの好意で結婚式場見学中サプライズがあり、歌手から歌 2 曲のクリスマスプレゼントで参加者は大喜びでした。

今回は 4 組のカップルが誕生、今後は楽しみです。(産業部会)

シリーズ 私のお気に入り

いばらきヘルスロード

日立水木浜コース

河原子海岸から南に続く海岸沿いに「日立水木浜コース」があります。全長 850 m のこのコースは夕方近くになると、散歩やジョギングを楽しむ人が多く集まってきます。沈む夕日を見ながら波打ち際をゆっくり歩くと、心が休まり幸せな気分になります。



肉料理も美味

太平洋が一望できる国民宿舎「鶴の岬」のレストラン「しおさい」は、茨城の海鮮料理が有名ですが、最近市民でもなかなかお目にかかれなくなった「常陸牛すき



やき定食」もあります。

肉汁がたっぷりて常陸牛本来の味が楽しめます。値段もお手頃で、夫婦でゆったり、あるいは家族で賑やかに昼食を楽しめます。

心まで温まる、鴨汁うどん

店の作りはシンプルで昭和の雰囲気のお店「戸来 (へらい) 商店」。場所は白銀町の日立武道館 (旧共楽館) の近くです。

趣味が高じてうどん屋さんをはじめて 18 年、すべて手づくりで当日朝 4 時に仕込み、午前 11 時 30 分開店、売り切れたら閉店。

しっかりとしたコシのある麺と京風の出汁の味わいを堪能できる評判のうどんです。冬には鴨汁うどんがおすすめ！行く時間はお早めに。



ひたち市民カレッジ修了 まちや人が見えてきた

平成 26 年度の「ひたち市民カレッジ」修了式が、10 月 22 日(水)茨城キリスト教大学キアラ館にて行われました。

大学関係者や市民カレッジ実行委員などの臨席のもと、第 7 期の



今後の活躍に期待

受講者 38 名(男性 21 名、女性 17 名)が 5 カ月間のカリキュラムを終えました。

本カレッジは、茨城キリスト教大学や市内の公共施設を会場に実施。一般教養、趣味と体験、まちづくりへの取り組み、ボランティ

ア活動、自主企画など 40 単位のカリキュラムがあり、受講者が一つのクラスとして活動することで、仲間としての絆も出来ます。

修了後は多くの方が、百年塾推進委員や地域の社会活動の担い手になるなど各方面で活躍しています。来年度も 6 月に開校を予定していますので、あなたも受講してみませんか。詳しくは百年塾ホームページをご覧ください。

久喜市が研修視察に

埼玉県久喜市から生涯学習推進部の委員ほか 32 名が研修視察のため、12 月 4 日(木)、百年塾を訪れました。

久喜市は「ひたち生き生き百年塾推進本部」と同様の市民主体の組織「生涯学習推進部」を設置し、市民の生涯学習の支援活動を担っています。今回、百年塾の活動を参考にしたいと来訪しました。

最初に百年塾側が発足の経緯、理念、組織、活動概要について説明、続いて久喜市からの事前質問に答える形で、具体的な事業の取り組みなどについて説明を行い、前半を終了しました。



グループ毎の情報交換

後半は、久喜市と百年塾推進委員が 6 グループに分かれて、互いの活動内容や課題について話し合いました。互いに似た環境で活動していることから、各グループとも熱が入り、今後の活動に大いに参考になる意見交換となりました。

これを機に情報交換等を通し交流を続けて行くことを願っています。

新市民教授インタビュー 飛田達雄さん(クラシックギター)

ギターは小さなオーケストラ



クラシックの基本からフォーク、ポップス、歌謡曲まで幅広く指導され、特にボサノバが得意とのこと。本格的にプロの先生に習ったのは 50 ~ 60 歳の 10 年間で、基本を間違っただけを直すのに苦労されたそうです。

成沢交流センターで教える傍ら、オーシャンミュージックパル、ひたち作詞作曲クラブ等に属し、年数回の演奏会をしているとのことでした。

日立のまち案内人インタビュー 矢代克己さん

生涯現役でまち案内



歴史に大変興味を持つ矢代さんは、水戸市の「茨城わくわく学園」で郷土の歴史を学びました。その後初代の「日立のまち案内人」代表として、日立市内の史跡の位置をマトリクスに纏め上げました。最近では大震災の傷跡からの復興と後世への伝承のツアーや市内の神社のいわれと祭事を学ぶツアー等、ますます元気に活躍されています。

募集します!

【市民教授】あなたの持っている知識、技能を市民の皆さんに広げてみませんか。

【日立のまち案内人】日立のまち案内人になって皆さんを案内してみませんか。

・・・どちらも百年塾サロンまでお電話を。

募集 私のお気に入り

日立市内で、あなたがお気に入りの場所、お店、食べ物、お菓子、産品などを紹介してください。まだあまり知られていない隠れたスポットなどの情報を待っています

「百年塾ひろば」に掲載・紹介します。

連絡先：百年塾サロン

■百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています

- 推進委員の受付
- 講座・講演の受付
- 市民教授の登録
- 市民教授の紹介
- 各種公共施設・民間施設の紹介
- 教育プラザギャラリーの利用申請
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部 事務局

日立市教育委員会 生涯学習課 ☎0294(23)9150 FAX 22-0465
 百年塾サロン ☎0294(23)9165 FAX 24-5200
 〒317-0064 日立市神峰町 1-6-11 日立市教育プラザ
 ホームページ <http://www.net1jway.ne.jp/iki100j/>
 E-mail iki100j@net1jway.ne.jp